

FBCAP (福岡バイオコミュニティ・アクセラレーションプログラム)

by Triple Bridge Acceleration Program (“TBAP”)

随時申込受付
参加費無料

- バイオ関連企業・研究機関のコミュニティ形成・発展を目指す『福岡バイオバレープロジェクト』の一環として県内大学等の研究成果の社会実装をサポートする『FBCAP』が2022年4月にスタートしました。
- 福岡県内において、ライフサイエンス分野（創薬・医療機器等）での研究成果の社会実装を目指す研究者の方やスタートアップ/ベンチャーの皆さんに以下のプログラムを提供し、有望な技術シーズの早期の社会実装を支援します。



本プログラムは、福岡バイオバレープロジェクト事務局の久留米リサーチ・パークが、TBAPを運営するAIFAMアセットマネジメント株式会社に業務委託しています。AIFAM社はTBAPのプラットフォームとリソースを活用し本プログラムを運営しています。



ビデオ・オン・デマンドで学ぶ“研究成果の事業化” (2)

講義ビデオのアクセス方法

1. FBCAPのWebsite (<https://fbcap.jp/>) にアクセスしてください。
2. 上部Menuの“Library”を選択。
3. 所属大学/研究機関の事務局から配布されたIDとパスワード(*)を入力。
(*) ご不明な場合は下記事務局までお問合せください。
4. Pageに表示された講義ビデオをご覧ください。



FBCAP
Fukuoka Bio Community Acceleration Program

About Events Library Contact Fukuoka Bio Community

This content is password protected. Please contact the FBCAP office for login details. (*This content is only available in Japanese.)
このコンテンツはパスワードで保護されています。閲覧を希望される方は事務局までご連絡ください。

既存ユーザーのログイン

ユーザー名またはメールアドレス

パスワード

ログイン状態を保存する

FBCAP
Fukuoka Bio Community Acceleration Program

About Events Library Contact Fukuoka Bio Community

社会実装を目指す方/スタートアップ向け	大学・TTO/TLO向け
<p>• 講義ビデオ</p> <p>1. 社会実装プランの実例紹介 (9'34")</p> <p>23/6/5 更新 <input type="button" value="Play"/></p> <p>2. 社会実装プランのレビュー - Segmentation (Market / Customer Segment) (12'24")</p> <p>23/6/5 更新 <input type="button" value="Play"/></p> <p>• 参考ビデオ</p> <p>1. 社会実装の解説</p> <p>社会実装って? (8'50")</p> <p>22/10/8 更新 <input type="button" value="Play"/></p> <p>2. 医薬系Startupの商業化の流れ</p> <p>Startupを取り巻くエコシステム (7'31")</p> <p>22/4/13 更新 <input type="button" value="Play"/></p> <p>Startupの立ち上げ (8'28")</p> <p>23/4/14 更新 <input type="button" value="Play"/></p>	<p>1. 社会実装の環境変化とTLOの対応 (9'22")</p> <p>22/8/5 更新 <input type="button" value="Play"/></p> <p>2. StartupへのLicensing (9'53")</p> <p>22/8/8 更新 <input type="button" value="Play"/></p> <p>3. NU Lyrica事例 (8'02")</p> <p>21/4/6 更新 <input type="button" value="Play"/></p> <p>4. Startupへのシフト</p> <p>Part I (9'05")</p> <p>21/6/18 更新 <input type="button" value="Play"/></p> <p>Part II (5'20")</p> <p>21/6/18 更新 <input type="button" value="Play"/></p>

(事務局)

株式会社 久留米リサーチパーク

〒839-0864 福岡県久留米市百年公園1番1号

Phone : 0942(37)6124

E-mail : fbv@krap.ktarn.or.jp

社会実装スペシャリストによる事業化に向けたアドバイス

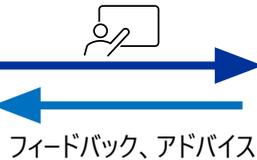
製薬企業のCVCやライフサイエンス系VCなどサイエンスを知る事業化のプロや、シリアル・アントレプレナー、エンジェル投資家といった事業化経験の豊富なメンバーが、技術とビジネス両面についてアドバイスします。

レビューの概要

<研究者、Startup/Venture>



- 研究成果/ビジネスプランに関する資料提出
- FBCAP Reviewerに向けたプレゼンテーション



<FBCAP Reviewers>

- 資料作成に関するアドバイス（ステージに応じた必要項目、投資家への伝え方）、英語版資料の英語Nativeによる添削等
- シーズ理解のための質疑、説明力向上のためのアドバイス
- 社会実装プラン（研究開発、チームアップ、サプライチェーン分析、市場分析）、ビジネスプラン（事業戦略、資金調達）に関する各種アドバイス
- TBAP Corporate会員の判断で、シード提供や共同研究のオファー

- 研究開発やビジネスプランの進捗に応じてミーティングを実施し、継続的にサポート

レビューに参加した研究者/スタートアップの方々の声

“異なる専門性を持ったレビューワから、それぞれ貴重な意見をいただき、自分の事業計画のあいまいな点、研究開発における課題が明確になりました。”

“サイエンス面、市場面共に最新の状況に即したコメントが助かりました。現ステージのみならず、事業を進める中で羅針盤のようなものになるのではないかと考えています。”

“私たちのシーズを深く理解した上での生産的なアドバイスは、これまでのメンタリングの中で最もハイレベルなもので非常に満足しました。”

“...の化合物を使う場合、独占期間が短く、利益を稼げる期間が短いため、対象疾患も含めてビジネス面での戦略明確化が必要。”

“既存ビジネスとの競合では、医療技術だけでなく、医療経済的な側面も考慮すべき。つまり、どうデリバリーするか、誰と組むか...”

“対象疾患としてはxxxの方がバリューが上がり易く、投資家としては確度の高いExitが期待できる。”

“...領域は、日々隙間を縫うように新たな知財が発生しており、早期にニーズや必要データ等を把握し、知財戦略、ビジネス戦略の具体化を検討すべき。”

“社会実装ではゴールを見据えた、バックキャストングでプランを策定すべき”
“IPOを狙う場合、リードを取れるVCを早いタイミングで入れることが重要”



社会実装スペシャリストによる事業化に向けたアドバイス (2)

レビュー者の紹介 (一部)



清泉 貴志 M.D. and Ph.D.

米国サンディエゴ在住のエンジェル投資家・起業家。形成外科医をした後に渡米。複数のポストンの医薬品ベンチャーにて事業開発・戦略企画担当の副社長を歴任後、田辺三菱製薬の米国法人の社長に就任。2001年、MediciNova, Inc.をスピノフにより設立、2005年に株式上場。

- ・M.D. and Ph.D. from Keio University School of Medicine
- ・MBA from Sloan School of Management at MIT



二見 崇史 Ph.D., MBA

山之内製薬（現アステラス製薬）入社後、癌や生活習慣病領域において標的探索からIND創製までの一連の創薬研究。米国でCorporate Venture Capital業務、Open Innovation推進を担当後、本社経営企画業務に従事。現在、国内VC (FTI) でベンチャーキャピタリスト。

- ・東京大学大学院工学系研究科化学生命工学終了
- ・筑波大学大学院博士後期課程修了（医学博士）



水井 佳治 Ph.D.

20年超に亘り創薬研究に携わる。2019年より米国Bostonに設立されたEisai Innovationの代表。それ以前は、イーザイ(株)オンコロジービジネスグループのストラテジー部長（兼）戦略推進グループ長。また2016年まで米Massachusetts州に設立されたH3 Biomedicineの創設メンバーとしてがん治療薬開発をリードした。

- ・九州大学大学院農学部農芸化学科修士課程修了（農学博士）



安達 竜太郎 Ph.D.

武田薬品工業（株）に入社し、13年に亘り創薬研究に携わる。2017年からベンチャーキャピタルにて技術系スタートアップに対するプリンシパル投資やファンド活動に従事。2020年にイーザイ（株）に入社。バイオテックやデジタルヘルスのスタートアップに対する投資活動に従事。

- ・大阪大学大学院医学系研究科修士課程修了
- ・筑波大学大学院生命環境科学研究科博士後期課程修了（生物科学博士）



鈴木 貞史 MBA

ヘルスケア・ライフサイエンスビジネスに於いて国内外で企業経営を経験。協和発酵、Baxter、日本Alconの他、Affymetrix Japan、Bio-Rad Laboratories、Cepheidでは日本法人代表を務める。医薬品、医療機器、臨床診断機器試薬、研究支援ツールなどに関連する内外市場展開の豊富な経験を有する。現在ベルギーのVC、Newton Biocapital 日本代表。

- ・MBA from Kellogg School at Northwestern Univ.



大下 創

20数年の医療機器業界（事業会社・VC）での経験を有する。日本から米国医療機器ベンチャーへの投資を担当した後、05年シリコンバレーのVCに現地採用され、米国医療機器ベンチャー投資を担当。当時の投資先の大半がEXITに成功し、複数の投資先が時価総額1000億円超を達成。投資先の代表的な製品に、治療法のない巨大脳動脈瘤の治療を可能にしたPipeline Stentがある。帰国後の2013年、医療機器専門のVCであるMedVenture Partners 創業。



森 文隆 Ph.D.

大鵬薬品にて創薬研究に従事した後、創薬企画部門にて、シーズ探索や創薬基盤構築のため大学やベンチャー企業との共同研究推進、アーリーステージアセットの導入評価等をリード。2015年にRemiges Ventures（独立系VC）に出向。米国Bostonを拠点に創薬ベンチャー投資を担当。2019年、大鵬イノベーションズ設立と同時にパートナー就任。

- ・静岡県立大学大学院薬学研究科修了（薬学博士）



Takuma Aoyama, MBA, MHCDS

Mr. Aoyama is the founder of AIFAM Group, a global investment management company. Prior to founding AIFAM, he was with UBS Global Asset Management at their then-headquarters in Chicago as well as Long-Term Credit Bank of Japan. He is responsible for the creation of multiple businesses and financial products, many of which have been strategically acquired.

- ・MBA from the University of Chicago
- ・MS in Healthcare Delivery Science from Dartmouth College.

上記のほかヘルスケアITなど専門分野の異なるメンバーや米国VCなど。詳細は<https://triplebridge.net/team-ja>をご参照ください。

FBCAP お申し込み方法と参加の流れ

(事務局・お問合せ先)

株式会社 久留米リサーチパーク

〒839-0864 福岡県久留米市百年公園1番1号

Phone : 0942(37)6124

E-mail : fbv@krp.ktarn.or.jp

1. 『Entry Sheet』と『Application Sheet』を右記事務局または所属大学/研究機関の事務局に提出

- Entry Sheetはプログラムへの参加申込書です。プログラムの規則をご確認いただきます。Application Sheetは、研究成果やビジネスプランの概要を記載いただくフォームです。要記載項目を網羅した資料（研究/事業内容のプレゼン資料など）を既に作成している場合、Application Sheetの代わりに当該資料を提出いただくことも可能です。
- 様式はFBCAP HP (<https://fbcap.jp>) または福岡バイオコミュニティHP (www.fbv.fukuoka.jp/support/accleration/) からダウンロードできます。ID、パスワードは各大学の事務局または右上に記載している事務局にお問い合わせください。
- お申し込み後、社会実装の教育プログラムが視聴可能となります。

2. 『Application Sheet』をベースにFBCAP teamが事前審査

- Application SheetをFBCAP teamがチェックし、レビューミーティングの実施是非を検討。必要に応じ資料の追加/修正をアドバイスします。

3. レビュー・ミーティング開催

- FBCAPのアドバイザーなど専門家で構成されるReviewer (*)が一同に介しレビューを実施します。発表者に研究内容及びビジネスプランを約20分でプレゼンいただいた後、質疑応答、アドバイスの実施など約1時間のWeb Meetingとなります。

(*) Reviewerのメンバーは前頁もしくはWebsite (<https://triplebridge.net/>) のトップページから“Meet the Team”をご参照ください。

4. フォローアップ

- レビューミーティングのフィードバックを行うほか、その後、随時、ご質問に対応します。また、その後のステップの進捗に合わせ継続的にレビューミーティングを行います。

5. イノベーションコンテストへの参加（2月）

- FBCAPでブラッシュアップした研究成果/ビジネスプランを広く発信する場としてコンテストを開催します。視聴参加するVCや製薬企業に向けて技術の革新性や商業化蓋然性をアピールし、将来の資金調達や共同研究へのアクセスの機会として活用いただきます。